

## 文化往来

研究組織KIRA研究所が主催、つ仮想空間は、新しい社交の場に  
ニューヨーク、東京、カナダ・ト  
ロントの三カ国を結ぶ形で六人の  
研究者が討論した。

インターネット上の仮想世界  
「セカンドライフ」で、「仮想世  
界の未来」と題するシンポジウム  
が二月下旬に開か  
れた。セカンドラ  
イフなどの仮想世界では、利用者  
は自分の分身としてキャラクター  
を設定し、様々な人々との交流や  
商品の売買ができる。シンポは米  
プリンストン高等研究所教授のピ  
ート・ハット氏が主宰する学際的  
立場で参加でき、遊びの精神をも  
「セカンドライフ」内で天文学の共  
同研究などをしてしている経験を踏ま  
って有力なコミュニケーションの  
手段になるとの見方を示した。

### ネット上の仮想世界、社交の場に育つか

もっとも、「技  
術インフラや操作

え、ハット氏は「天文学のプロ、  
アマにかかわらず、多様な人々が  
集まるので刺激になる」と話す。  
米ニューヨーク大学院社会学部  
の池上英子氏は「誰もが対等の  
企業が撤退している」（野村総合  
研究所上席研究員の山崎秀夫氏）  
の事実。身近な社交空間に育つ  
には課題も多そうだ。